

あーかす

米子医療センターマガジン#43
January 2024(令和6年1月号)



新年のご挨拶

新しい年に老化と 長寿について考えてみましょう

第19回日本医療マネジメント学会 鳥取支部学術集会を開催しました

学会報告

第36回中国ブロック理学療法士会

第19回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会

第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所看護研究学会

第77回国立病院総合医学会

New Face

医師の働き方改革を進めるための タスク・シフト/シェアの推進

ちょっとひといき

Topics File~栄養管理室の掲示板

Enjoy! 学生 LIFE



■ contents ■

- 03 新年のご挨拶
新しい年に老化と長寿について
考えてみましょう
- 04 第19回日本医療マネジメント学会
鳥取支部学術集会を開催しました
— 学会報告 —
- 05 第36回中国ブロック理学療法士会
- 06 第19回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会
- 08 第19回中国四国地区国立病院機構 国立療養所看護研究学会
- 10 第77回国立病院総合医学会
- 11 New Face
- 12 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進
- 12 ちょっとひといき
- 13 Topics File～栄養管理室の掲示板
- 14 Enjoy! 学生 LIFE



患者さまと職員が向き合った姿で、患者さま中心の医療提供とYONAGO(米子)の「Y」、MEDICAL(医療)の「M」、CENTER(センター)の「C」の文字を、まごころ、信頼、安心、良質の医療をイメージする「ハート」に組み合わせ「米子医療センター」の明るく元気な姿を表しています。

あーかす

あーかす(Arcus)とはラテン語で「虹」を意味し、英語のArc(弓、橋)+Us(私たち)で「私たちが地域の架け橋になる」という意志を込めてタイトルとしました。私たちの持ついろいろな表情を、地域の方々や医療関係者に広く知って頂き、絆を更に深める情報を掲載してまいります。



新しい年に老化と長寿について考えてみましょう

国立病院機構 米子医療センター 病院長 久留一郎



■はじめに

新年あけましておめでとうございます。皆様お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年は**辰(龍)年**です。辰は十二支の中で唯一伝説上の生物です。古くから「龍が現れると何かおめでたいことが起きる」と考えられてきました。新型コロナウイルス感染症が5類になって初めての年が**辰年**にふさわしい躍動の年となり、皆様にとって幸多い年そして発展の年となりますことを心からお祈り申し上げます。

さて、“龍”は知識の象徴であるとともに不老長寿の象徴ですので老化への抵抗力といった側面と関連付けられます。そこで“辰年”にちなんで老化と長寿について考えてみたいと思います。

■ヒトの老後には大切な役割があります

老後を生物学的に定義すると、生殖可能年齢を超えた時期となります。興味深い事に生物の中で老後の時期があるのはヒトとシャチとゴンドウクジラの3つの生物だけです。つまりヒトは進化の中で老後を獲得し経験豊富なシニアになれた数少ない生物です。なぜ人はシニアになれたかという疑問の答えに「おばあちゃん」仮説があります。赤ちゃんのお世話は大変ですので、子育ての経験がある「おばあちゃん」は産後の母体の回復期を献身的に支える救世主です。太古の昔、長寿になる遺伝子を持ったヒトがある種族に現れ、おばあちゃんやおじいちゃんになることができ子育てに貢献し、その種族が繁栄したため長寿遺伝子を持つ集団が人類の多数派になったと考えられています。技術が発展し文明が開化すると生活の知恵や共同体のルール作りやその伝授は集団にとって極めて重要です。シニアのいる集団が益々繁栄し、さらに寿命が延びました。このようにシニアになれる能力を持った人たちが多数派を占め、ヒトは老後を獲得できたと言われてます。「龍」のようにシニアは知識や経験が豊富で教育熱心であり集団全体の調整役としてバランス良く振舞える大切な存在です。

■老化を防ぐ医学研究が進んでいます

社会にとって大切なシニアが元気であるためには老化を防ぐことが重要です。医学では不老長寿の研究が盛んに行われています。例えば、遺伝子であるDNAが傷つきDNAが短くなると老化がおこり、これらのDNAの異常が加齢とともに蓄積して細胞の働きが悪くなります。そこでDNAの異常を起りにくくすることで老化を押さえる研究が進んでいます。また老化した細胞は有害な物質を出し続け、まわりの健康な細胞も壊します。この老化細胞を免疫の力や化学物質で取り除くと老化症状が緩和されることが実験で証明されています。医学の進歩により将来は老化を確実に予防できる時代が来るかもしれませんが、現在の私たちの老化予防の“登竜門”は老化を防ぐ生活習慣をすることです。

■当院はみなさんの健康長寿を支えます

寿命の延長に従って老化が原因で発生するがん、脳卒中や心臓病が日本人の3大死因となりました。これらの疾患を防ぐには老化を予防する生活習慣が大切です。江戸時代の健康と長寿のバイブルに貝原益軒という医師が書いた養生訓があり現代の老化を防ぐ生活習慣に通じます。過度な食欲を慎み、運動、栄養、休息を過不足なく行う生活をするを勧めています。2020年に入って新型コロナの影響で健診を受ける方が減少しました。養生訓では病気にならないように努力することの重要性が説かれています。健診や病院の受診控えの影響で、がんや生活習慣病の早期発見が遅れ、そのケアが難しくなることが懸念されます。老化を防ぐ生活習慣を心がけ、老化予防の“登竜門”である健診や定期的な通院を利用して元気なシニアを目指しましょう。さて、本年も当院は「地域の命を支える」という理念の実現に向けて確実に安全な診療・ケアを実践し、患者さんの視点に立った良質な医療を提供できるように病院一体となって努力して参りますのでどうぞよろしく願います。

第19回 日本医療マネジメント学会 鳥取支部学術集会を開催しました

2023年9月23日(土)、米子医療センターくずもホールにて本学術集会(以下学会)を開催しました。学会長は当院の久留一郎院長です。この学会は医師はもちろんのこと看護師や薬剤師をはじめ事務職を含めた医療職全般が参加し、よりよい医療や病院運営について討議する学会です。県内の11病院が持ち回りで年1回開催しておりますが、直近の3年間は新型コロナウイルス感染症の影響で延期やweb開催を余儀なくされ、4年ぶりの現地(対面)開催が実現しました。



統括診療部長
大槻 亮二



学会長 久留一郎院長あいさつ



鳥取大学保健学科教授 加藤雅彦先生

学会では「多職種連携によるチーム医療」をテーマに掲げ、特別講演、シンポジウム5題、一般演題26題(口演9、ポスター17)の発表が行われました。特別講演には鳥取大学保健学科教授の加藤雅彦先生をお招きし、「多職種連携の重要性と今後の課題」と題して講演を賜りました。加藤先生は循環器内科のスペシャリストで、心不全の基礎的知識に始まり、鳥大病院での多職種連携の現状と課題、さらには地域や行政まで連携した心不全治療の必要性について熱く語っていただき、すべての参加者の心に響くお話を伺うことができました。シンポジウムでは5病院の5職種のシンポジストが多職種連携にかかわる各病院での取り組みや課題などを発表され、貴重な情報交換がおこなわれました。また、一般演題においても活発な討論が行われ実りある学会となりました。最後に優秀演題賞として5名の演者が表彰され、今後の励みになったものと思います。感染症が沈静化しないなか予想以上の82名の参加をいただき、くずもホールに準備した椅子が足りないくらいの盛況でした。規模は小さいですが「多職種」が集う貴重な学会で、普段はあまり聞くことのない「他施設」「他職種」の考え方や熱意に触れることができた有意義な学会であったと思います。



第36回

中国ブロック理学療法士会

最優秀賞を受賞して



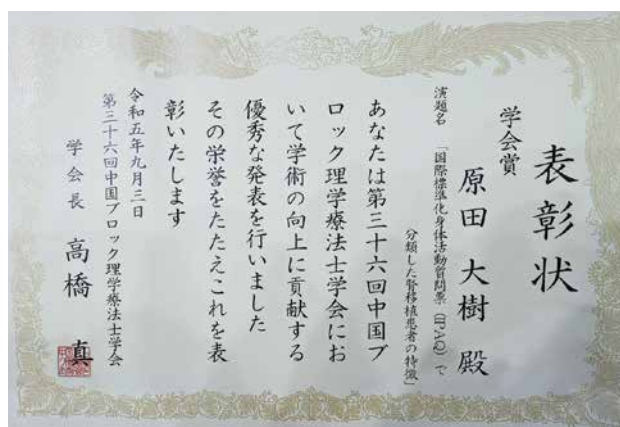
理学療法士 原田 大樹

2023年9月2日、3日に広島県で開催された第36回中国ブロック理学療法士学会で発表してきました。本学会は待望の完全対面開催。なんと2日目には560名の参加者を超え、大盛況となりました。会場は、ホール、スタジオ、大会議室、ギャラリーの4会場が設置され、各会場では口述発表、ポスター発表、市民講座や特別講演、機器展示など対面学会ならではの盛り上がりがありました。最新の医療機器にはワクワクが止まりませんし、広島つけ麺もとても美味しかったです。そして、なにより母校や実習先でお世話になった恩師、先輩、同期とも再会できたことが嬉しかったです。さて、学会発表に話を戻します。私が採択されたのはセクション演題といいます。簡単に説明すると、本学会に応募された90演題の中から5演題に絞り、優秀演題賞候補として採択するものです。発表形式は、演壇に上がり、大きなスクリーンに映る自分のスライドにレーザーポインターを当てながら説明する。いわゆる口述発表です。このセクション演題に採択された研究はどれも素晴らしい内容で、どの病院も大学院も存じておりました。また、演者席で話してみると非常に気さくな先生ばかりで、演者席の雰囲気はとても和やかでした。発表を終えた後は同士に「お疲れ様」と拍手。セッション終了後には皆で握手してから解散しました。すごく気持ちのいい先生方で、同じセッションで発表出来たこと、この機会に知り合えたことがとても嬉しかったです。『切磋琢磨』とはこういう事をいうのかなと



感じました。そして、2日目の表彰式。私は最優秀賞(学会賞)を受賞させて頂きました。今も嬉しい気持ちと同時に、恐縮する気持ちでいっぱいです。この場を借りて、感謝の気持ちを伝えさせて下さい。

この度、最優秀賞という大変栄誉ある賞を受賞させて頂きました。私がこのような素晴らしい賞を受賞できたのも、一個人の力ではなく、研究に協力して下さいました患者さん、日頃より私の臨床業務と研究活動を支えて下さっているリハビリテーション科スタッフ、各部署で働く皆様のお力添えがあつてのことと考えております。今後も初心を忘れず、臨床業務、研究活動に励んで参ります。長々となりましたが、これで学会報告を終わりたいと思います。この度は、このような素晴らしい報告の場を設けて頂き、ありがとうございました。



第19回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会

優秀演題賞を受賞して



地域医療連携室
訪問看護師
涌田 典子

今回の学会は2023年9月23日米子医療センターで開催されました。多職種連携によるチーム医療というテーマでポスター発表を行いました。

おかげさまで当院訪問看護は9年目を迎え、ここ3年間の平均で630件/年に訪問しています。医師、病棟看護師、訪問看護師で情報共有し、継続看護ができること、すぐに患者さんの情報を収集し、訪問看護の調整ができることが特徴です。

今回の研究では「入退院を繰り返しながら在宅看取りが可能になった一症例」というテーマで院内連携に関して述べました。

この症例では退院時同行し、症状の観察やADLの評価、介護状態を確認しました。その後は患者さん・ご家族の思いを尊重しながら寄り添う姿勢で関わりました。その結果、ご家族は患者さんに合わせた介護をすることができ、療養場所の意思決定ができました。

ポスター発表は3か所に分かれ、それぞれたくさんの方が聴講され活発な意見交換がされました。発表後に「在宅看取りを決められた訪問看護師の関わりはどこですか?」と質問を受けました。「ご家族が患者さんの症状に合わせて介護をできていることを肯定し、患者さん、ご家族の意向を丁寧に汲みながら関わり、寄り添いながら支援した結果です」と答えました。

無事に発表を終えたこと、訪問看護師の関わりが答えられたことで満足していましたが、優秀ポスター賞をいただき、うれしい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいになりました。私がこのような賞をいただけたのもご指導いただいた八杉先生、チームワークで支援して下さる地域医療連携室の皆さん、そして関わっていただいた病院のスタッフの

皆さんのおかげです。このような発表の機会をいただきありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

そして最後になりましたが、日頃より在宅療養を支援して下さる地域の皆様には快く受け入れていただき心より感謝申し上げます。今後も在宅療養に向けて連携をよろしく願っています。

入退院を繰り返しながら在宅看取りが可能になった一症例

独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
地域医療連携室訪問看護 ○涌田典子 岡田悦子
地域医療連携室係長 ○吉野真由美
緩和ケア内科医師 八杉温子

はじめに	目的											
終末期の在宅療養において「住み慣れた自宅で安らかに最期を迎えたい」という希望を持つ患者・家族が多いが、病状の経過・手続・介護者の希望にその決定は揺れる入退院を繰り返しながら在宅看取りを決心した一症例について、訪問看護師の支援を振り返る	患者・家族の揺れる気持ちがある中で、在宅看取りに至った症例の訪問看護師の支援内容を明らかにする											
方法												
■期間：2022.2～2022.7 ■対象：80代男性 食道癌で転移ありBSCとなる ■方法：後方視的にカルテより情報収集する 看護記録から訪問看護師の支援内容について抽出し考察する												
倫理的配慮	COI											
米子医療センター倫理委員会にて承認を得た (承認番号0506-05)	説明書と関連し、開示すべきCOI関係にある企業等なし											
経過・結果												
経過	在宅		入院		在宅		入院		在宅		入院	
	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5日目	7日目	9日目	11日目	13日目	15日目	17日目	18日目
患者	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい
家族	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい
医師	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい
看護師	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい
介護方針	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい	家で過ごし たい

第19回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会

優秀演題賞を受賞して



看護部 看護師
生田 奈都子

本学会は当院のくずもホールで開催され、様々な職種の方の発表から他病院におけるチーム医療を学ぶことができました。私にとっては、コロナ禍を経て数年ぶりに現地参加できた学会で、発表したブースにも多くの方が来場され熱心に聴講されていました。

私は「看護師がポジショニングで難渋する要因-ポジショニングラウンドから検討する-」というテーマでポスター発表を行いました。当院では、褥瘡の予防や悪化が防止できる姿勢を自分でとれない方に、安全で快適な姿勢が保持できるよう多職種でポジショニングを検討しています。しかし、病棟看護師からラウンドで提示されたポジショニングを行うのが難しいという意見がありました。今回の研究は、その要因を調査して改善につなげたいと思い取り組みました。その結果、看護師がポジショニングに難渋

する要因には「身体に拘縮や変形がある方」であったり、「自身の知識や技術に対して不足や不安を感じること」などが挙げられました。

研究後のラウンドでは、看護師が実際にポジショニングを行っているかを確認したり、適切なポジショニングが継続できているかを以前よりも意識してフォローするようになりました。明らかになった要因に対し、ラウンドを含めた実践教育の充実や体圧分散用具の活用方法を学べるように支援していく必要があると考えます。

今回の研究をまとめる際には、苦勞もありましたが、おかげさまで優秀演題賞をいただきました。研究のアンケートにご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。これからも多職種連携を大切に、チームで褥瘡対策に取り組みたいと思います。



ポスター賞を受賞して

COVID-19患者退院後の 病床環境のウイルスは、 完全に除くことができているのか



感染対策相談係長
萩 幹

私は、「環境表面におけるCOVID-19の残存のない安全な療養環境についての検証-陽性患者の療養環境清掃後のウイルス残存の評価-」というテーマで研究発表を行いました。

当院は、地域の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の入院患者を受け入れる重点医療機関としての役割を担っています。コロナウイルスは、環境表面における接触感染のリスクは低いと言われており、次亜塩素酸NaにてCOVID-19ウイルスに対する除去効果は99%以上の不活化効果が高いことが示されています。院内のCOVID-19患者退院後の病床環境のウイルスは、完全に除くことができているのか確認したいと考え研究を行いました。

示説発表ブースでは、沢山の方に聴講して頂きました。発表後の質問では「実際の清掃を実施する職種は誰なのか、現場への指導方法、周知の仕方」について質問がありました。「清掃はコロナ担当の看護師が入院から退院後の清掃まで実施しており、凹凸のある器具やパーツ部分は、ウイルスが残る

やすく、丁寧に圧を加えながら清掃することが大切となること。現在、清掃委託業者にも清掃の指導を行い、拡大の方向としている」等の説明を行いました。発表後も複数の施設の方より清掃のポイント方法について資料を参考にさせて欲しい等の声が聞かれました。最後に輝く『座長賞』を頂くことができました(副賞は出雲大社の縁結びの箸でした)。この学会発表内容は、学会誌にまとめ国立国会図書館に保管されます。今回大変貴重な機会を頂きましたことに感謝しています。

今年の5月以降、新型コロナは2類感染症から5類になって、どこの病院でもコロナ陽性患者を受入れすることが求められており、清掃に関してとても関心のあるテーマであったと感じました。

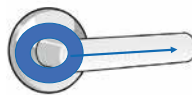
最後になりましたが、富田臨床研究部長、コロナ病棟のスタッフにこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



COVID-19患者退院後の療養環境の効果的な拭き方



凹凸のある面は
一列ずつ圧を加えて一方向に拭く



- 表面に凹凸のある器具は、ウイルスが残るし易いため、一列ずつボタン面を圧を加えて拭く。
- 環境表面は一方向にて拭き、一度拭いたところには戻らないように拭くことが大切。
- 異なる環境面を清拭する際は、クロスの面を変えるか、新しいクロスを使用して消毒する。

今回の学会は、令和5年9月9日、松江市くびきメッセにて開催されました。
新型コロナにて数年は中止又はWEB開催でしたが、4年ぶりに対面での現地開催が行われました。

ポスター賞を受賞して

看護技術教育の プログラムの効果について

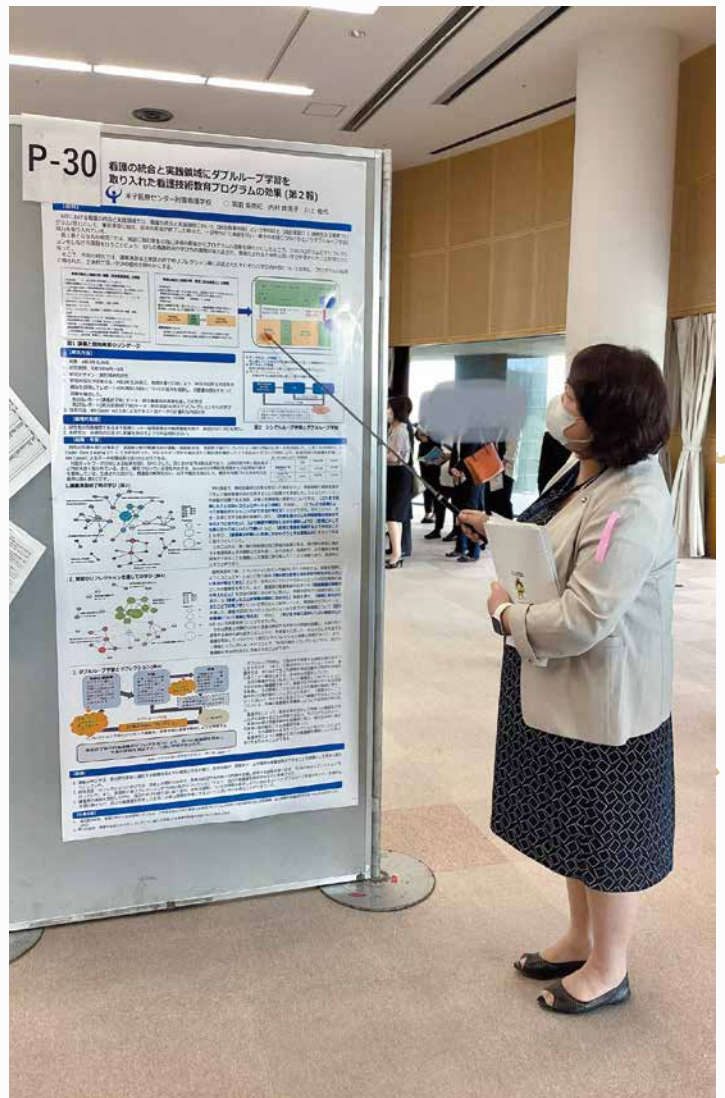


看護学校 教員
濱田 美由紀

今回の学会の示説発表にて、ポスター賞を受賞致しました。演題は、「看護の統合と実践領域にダブルループ学習を取り入れた看護技術教育プログラムの効果-第2報-」で、看護技術教育のプログラムの効果についての研究成果を発表いたしました。昨年度実施した第1報の研究では、本プログラムにおいて学生の主体的な演習への取り組みが有意に上昇していました。そしてその過程では、受け持っている患者さんに適した技術の提供と、自身の技術力に対峙しながら演習していることが解りました。

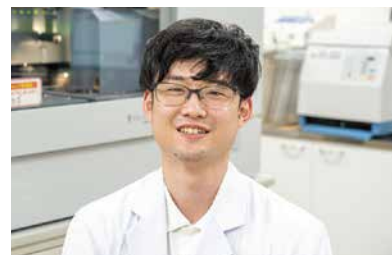
そこで、今回は、学生の学びの様相を明らかにすることを目的として質的な視点から内容分析を行いました。昨年度、KH Coderによるテキストマイニング手法のセミナーを受講できたこともあり、この方法でテキスト型データの計量的な内容分析(計量テキスト分析)を行うことができました。その結果から、看護学生は、看護技術を行いながらリフレクションを繰り返すことで、対象理解や看護そのものへの内発的な動機付けがなされ、看護観に影響する深い学びをもたらしていることを明らかにすることができました。今後は、他の科目における看護技術教育への活用を目指して、教育プログラムそのものを提示できるよう研究していきたいと考えています。

以前私は、研究は研究対象者に光を当てるものでもありと学びました。今回の研究結果が、研究に協力いただいた看護学生の学びや学ぶ姿勢に光が当たれば幸いです。今後も、当校の看護教育を丁寧に評価して、成果をより良い教育につなげていけるよう尽力してまいります。





ベスト口演賞を受賞して



臨床検査科 臨床検査技師
田澤 千明

第77回国立病院総合医学学会に参加しましたので、ご報告します。

今回の学会は、広島県で開催されました。広島は国家試験を受けた地であり、知人も多いので、個人的に馴染み深い県となっております。私は到着次第、真っ先に晩御飯として名物の広島焼を食べ、英気を養いました。その日はホテルで最後のスライド確認をして、寝床につきました。

朝目が覚めると、大きな問題に直面しました。雨が降っていたのです。私は雨男のため仕方ないとは思いましたが、私の頭を悩ませたのは会場までのアクセスでした。何をそこまで悩んでいるのかと皆様は疑問に思うことでしょう。私田澤は自慢ではありませんが、29年間鳥取県から出て生活を送ったことがありません。つまり、整備されているインフラには減法弱いのです。学会HPの会場アクセスには、丁寧に路面電車のイラストが記載されていました。今年6月に東京へ出張しましたが、その際もグリーン指定席と自由席を間違えて乗車し、車掌に注意されたばかり…。普通の電車にも乗れなかったのに、「路面」電車など聞いただけで腰がひけてしまいます。人生初となる路面電車で会場に向かうか、雨の中歩いて会場に向かうか、朝から究極の選択を迫られていました。結局濡れて口演するのは憚られるので、しぶしぶ路面電車を選択しました。はっきり申し上げると、口演よりも会場に向かうまでが一番緊張しました。

私が、今回口演した内容ですが、「入院患者の高尿酸血症

の病態に関する検討1」という演題で口演しました。内容は、高尿酸血症を伴う原因の究明について人口知能を用いた解析で記されています。普段輸血検査をメインで行っているので、慣れない生化学検査である尿酸、解析については知識が不足しており、とても不安でした。しかし、久留院長、冨田先生がわかりやすくご教授してくださり、ミーティングを重ねるたびに不安も払拭されていきました。

口演開始前には、当科の久本技師長に声をかけていただきました。他施設の上司の方々も応援に来られていると、少し圧?もかけていただきましたが、とても心強く感じ、口演を行うことができました。皆様の応援もあり堂々と発表できたためか、座長からベスト口演賞に選出していただけました。

高尿酸血症は、患者予後不良因子であることがこれまでの多くの研究からわかっています。その原因について普段報告しているデータが大きく関与していることが今回の研究で示され、大変興味深い内容となりました。患者予後に関連する高尿酸血症を引き起こし得るデータが確認された際、臨床側へ報告する体制を構築できれば、チーム医療にさらに貢献できるのではないかと考え、自身のモチベーション向上につながりました。

最後になりましたが、ご指導いただきました久留院長、冨田先生、支えてくださった臨床検査科ならびに関係者の皆様には、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。



国立病院総合医学会に参加して



歯科口腔外科 医長
吉田 優



今回、10/20-21 に広島市で開催されました国立病院総合医学会に参加し、症例報告を行ってきました。全国の国立病院機構から参加する規模の大きい学会ということもあり、またコロナ禍で思う様に活動できなかった期間もあり、様々な困難を乗り越えての開催ということもあり非常に盛会でした。報告では、他病院の方々にも質問やご意見をいただき有意義な時間を過ごすことができました。内容としては当科受診をきっかけに血液の疾患が発覚した2症例の報告をさせていただきました。通常、歯肉が腫れたり出血し

たりするときは歯周病や親知らずなど局所的な原因のことが多いです。ですが、中には全身的な疾患に伴って口腔内の症状が出る場合があります。我々は口腔の専門家として、そういった症状から適切に検査を行い、全身的な疾患が疑われた際には早期に専門科に紹介することが重要であると考えています。今回の発表のためにご指導、ご助言をいただきました血液腫瘍内科足立先生はじめスタッフの皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます。また今後の診療に役立てていきたいと思っていますので何卒よろしくお願いいたします。

New-Face よろしくお願ひします。



内科 医師
角田 宏明

2023年10月より内科医として赴任しました、角田 宏明(つのだ ひろあき)と申します。

鳥取市出身で、鳥取西高等学校、鳥取大学医学部を卒業しました。医師免許取得後は山陰労災病院で初期研修を行った後、続けて同院の消化器内科医として長らく勤務しました。その後、松江生協病院での勤務を経て、このたび米子医療センターで働かせていただくこととなりました。こちらでは消化器内科だけではなく総合内科も担当させていただくことになり、今まで以上に気持ちを引き締めて日々の診療に取り組みたいですと思っています。至らない点も多々あるかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

医師の働き方改革を 進めるための タスク・シフト/シェアの推進



臨床検査技師
大塚 真由美

医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進により、臨床検査技師にも10の行為ができるようになりました。10の行為とは(簡単に書きますが)静脈路確保、造影超音波検査(造影剤注入)、喀痰吸引・採取、成分採血(アフエーシス)のための行為、持続皮下グルコース検査、直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査の際の組織検体採取、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査(針電極含む)等です。難しそうな言葉ばかりですが、検査技師も医師の代わりにできる仕事が増えた、ということです。10の行為を行うためには講習会を受講する事が必須であり、令和5年7月16日に米子コンベンションセンターで、「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」を受講しました。

実習を行う部屋は3つあり、それぞれの部屋で実習をすることができました。静脈路確保や喀痰吸引は人形の体や腕を使って行い、何回も針を刺したり管を入れたりしました。直腸肛門機能検査はお尻の模型(こんなのあるんだと驚きました)が置いてあり、肛門に機器を挿入しました。違う施設の検査技師の方々とグループで取り組み、ああでもない、こうでもないと色々試しながら、

時間の許す限り行いました。講師の先生にコツを聞きながら行いましたが、とにかく「難しい!!」の言葉しか出てきません。やはり、経験は必要だと感じます。

特に印象に残ったのは、内視鏡室の補助です。「検査を行う先生とうまくコミュニケーションをとってタイミングよく補助しないと、空気悪くなるよ」と教えていただきました。先生が何をしたいのか考え、行動しないと検査はスムーズにいきません。もし実際に補助を行う場合には、今回習った知識が活かせるといいなと思います。

講師の先生にお聞きしたところ、まだまだタスク・シフト/シェアで検査技師が10の行為を行っている施設は少ないようです。当院の検査技師は3名の受講が完了しており、これから順次、人数を増やす予定です。10の行為の中で、当院ではしていない検査もありますし、経験を積まなければうまくいかないこともあるかと思いますが、出来る範囲で進めていきたいと考えています。検査技師も少しでも医師の負担軽減の力になれるようにと思っていますのでよろしくお願い致します。

ち ょ っ と ひ と い き

カッパをさがせ!

みなさんは、病院の廊下や壁に描いてある絵を見たことがありますよね。院内各所にカラフルな絵があるのですが、ではこの「カッパ」は見たことがありますか? 実は、なかなか気づきにくいところにいるのです。

ぜひ、探してみてくださいね。ヒントは、青いライン! 見つけることができれば、きっといいことがおこるかもしれませんよ。



栄養管理室の掲示板

栄養管理室 管理栄養士
川上 穂南

鶏肉と れんこんの煮物



◇2024年も良い年でありますように

本格的な冬になり、冬の一大イベントといえばお正月! お正月と言えば、おせちを食べられる方が多いのではないのでしょうか。おせち料理には料理一つ一つに意味がこめられています。今回はその中でも「れんこん」についてのお話をしていきたいと思います。

れんこんは煮しめにしたり、酢れんこんにしたりして食べますよね。そんなれんこんは穴が複数空いており、向こう側が見えるということから「将来の見通しが良くなるように」という意味があります。また、れんこんは種が多く実ることから「子孫繁栄」という意味もあります。さらに、仏教で蓮の花は極楽浄土の池で咲く花と言われており、清らかでけがれのない植物とされ、縁起が良い花だと言われているので、おせちに使われるようになったと言われています。そんな縁起の良いれんこんのレシピを今回はご紹介したいと思います。レンジで調理ができるので、手軽に作れると思います。ぜひ皆さん試してみてください。

【栄養成分(1人分当たり)】

エネルギー	374kcal
たんぱく質	18.6g
脂質	14.4g
炭水化物	18.8g
塩分	1.8g

【材料(1人分)】

鶏もも肉	100g
れんこん	50g
おろし生姜	10g
濃口醤油	8g
A 砂糖	5g
かつお昆布出汁	70g
片栗粉	6g
水(片栗粉用)	10g
葉ねぎ	3g

作り方

- ①鶏もも肉は一口大、葉ねぎは小口切り、れんこんはピーラーで皮をむいて1cmの厚さのいちょう切りに切る。Aの調味料を合わせ、片栗粉も水で溶いておく。
- ②耐熱容器に鶏もも肉、れんこん、Aを入れ、レンジで600Wで2分加熱する。
- ③全体に火が通るように②を混ぜ、水溶性片栗粉、おろし生姜を入れ、再度レンジで600Wで2分加熱する。
- ④器に盛って、葉ねぎをのせれば完成。

レシピ提供:松江栄養調理製菓専門学校実習生

学校祭を終えて



学校祭実行委員
2年生(56回生) 樋原 結菜

記憶力
ゲーム

10月27日(金)に学校祭を開催しました。これまでは、新型コロナウイルス感染症拡大のため、感染予防対策を徹底しながら学内で学校祭を開催していました。今年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、学校周辺に住んでいる地域の方々へ感謝の気持ちを伝えるために学校祭で何ができるかを考えました。そして、学年を超えた協力・連携・協働を深め、周囲の人との交流の機会にすることを目的にテーマを「繋(connection)～距離は離れていても心は密に～」に決めました。

学校祭当日は午前中にレクリエーションを行い、午後からは、高齢者施設での健康講座、米子医療センターや松江医療センターでの清掃ボランティアを行いました。

午前中のレクリエーションでは、看護や学校に関するクイズを行いました。学年混合でグループを編成し、協力して一つの答えを導き出す中で、学年の垣根を越えて楽しむことができたと思います。

午後からは、高齢者施設に訪問して健康講座を行うグループと米子医療センターや松江医療センターにて清掃を行うグループに分かれました。米子市内の8つの施設に協力していただき、サルコペニアについて説明し、利用者さんと共にサルコペニアを予防する体操を行いました。事前に各施設にお伺いし、施設のスタッフと内容を確認しながら準備を整えたので、実施後に、利用者さんから「家でやってみます」「楽しかったです」と言ってもらい、とても嬉しかったです。

清掃ボランティアでは実習でご指導いただいている米子医療センター、松江医療センターにて清掃を行いました。看護援助の中の環境整備は感染予防だけでなく、生活の場として過ごしやすい環境を作るためにも大切であり、丁寧に清掃を行いました。病棟だけでなく、病院全体を協力して清掃することで、私たちが学校生活を安心して過ごせるためにサポートしてくださっている病院のスタッフの方々にも感謝を伝えることができたのではないかと思います。

今回の学校祭は、新たな取り組みで、不安な面もあり、多くの意見をいただきながら、企画を追加・修正することはとても大変でした。しかし、健康講座で利用者さんに優しく声を掛ける3年生の姿を見てすごいなと思い、また、初めて参加する1年生も楽しんでくれていたことで、全学年で協力して取り組みテーマである「繋～connection～」を達成することができたと思います。また、今回学校祭に協力してくださった高齢者施設のスタッフの皆様、利用者の方々、病院の関係者の方々とも繋がることができたのではないかと思います。私たちの学校祭に協力して下さった皆さま方に改めて感謝を申し上げます。

今年の学校祭を通して、改めて地域の方々、病院や実習先の方々すべての人の支えがあって私たちは多くの学びを得ていることを忘れず、将来地域に貢献できる看護師になれるよう努力していきたいと思います。



清掃
ボランティア

一人一文字
ゲーム

記憶力
ゲーム



優勝!

第57回生 宣誓式を終えて



令和5年11月17日(金)、第57回生宣誓式を挙行了しました。この日の主役である1年生26名は、「自分たち」らしい式になるよう、全員で協力して、この日まで取り組んできました。練習を始めたころは、ナイチンゲール誓詞の唱和や、ろうそくに灯をいただくための動きもぎこちないものでした。しかし、この式の運営委員を中心に、自分たちで意見を出し合い、修正しながら練習を重ね、最後は思い描いたとおりの宣誓式にすることができました。

私たち第57回生が考えた、宣誓式のテーマは芽(めばえ)です。

このテーマにしたのは、「まだ花の蕾にもなれていません

が、卒業し、それぞれの道へと歩みだす頃には立派な花となって置かれた場所で咲けるように」という想いを込めたからです。

宣誓式の会場前には、一人ひとりの目指す看護師像を桜の花びらに書き、満開の桜花に見立てることで、みんなの夢が叶うようにという想いを込めて作った、桜の樹を掲示しました。

私たちは、ナイチンゲールからいただいた灯で「ハート」を形作りました。

〈ハート形〉には、看護学校の教育理念にもある【人間愛】という言葉を表現できる形にしたいという想いを込めました。



【運営委員】米原史華

みんなとの話し合いの準備に想像以上に時間がかかって大変でしたが、本番では全員で良い宣誓式を行うことができ本当に良かったです。リーダーを中心に、一緒に準備をした宣誓式系のメンバーや、放課後まで残って手伝ってくれた友達、細かいところまで準備やご指導いただき先生方に感謝しています。これからの学習や実習でクラスの人々と協力し、それぞれの目指す看護師像に向かってさらに頑張っていきたいです。

【運営委員】長谷川未南

26人全員の思いが込められた式にするために、できるだけみんなの意見が取り入れられるように話し合いを行いました。宣誓式の準備を進めてきました。決めることや覚えることばかりで準備はとても大変でしたが、26人全員で力を合わせて最高の式にすることができたと思います。これからもそれぞれの目指す看護師になるために、みんなで助け合いながら勉強や実習に取り組んでいきたいです。

【運営委員リーダー】足立優子

本当に0からのスタートで、不安もたくさんありましたが、先生方に支えて頂き、57回生全員の思いを最大限につめ込むことができました。みんなで誓った誓詞を忘れずに、この式がこれからのみんなの支えになればいいと思います。

【運営委員】田原さつき

宣誓式にあたって、係のみんなと協力、助け合って進行し、クラスの人々とも57回生らしい宣誓式にするために、アイデアを出し合ったりしました。大変なことも多かったですが、一生の思い出になる57回生の想いが沢山こもった宣誓式になってよかったです。





診療科	曜日	曜日					備考
		月	火	水	木	金	
総合内科		山本 光紘	加藤 竜平	角田 宏明	山本 光紘	加藤 竜平	
呼吸器内科		富田 桂公	富田 桂公	唐下 泰一	池内 智行	唐下 泰一	
	専門外来		鳥大医師				
消化器内科		香田 正晴	原田 賢一	松岡 宏至	香田 正晴	松岡 宏至	
		山形 祥世	角田 宏明	大山 賢治		原田 賢一	
血液腫瘍内科		足立 康二	足立 康二	足立 康二		足立 康二	完全予約制
	専門外来		前垣 雅哉	但馬史人[第2・第4]		河村 浩二	[診療時間] 13時~14時(予約制)
循環器内科			福木 昌治	福木 昌治		福木 昌治	
	専門外来	福木 昌治			久留 一郎		[診療時間](月曜日): ペースメーカー外来 13時30分~予約制 [診療時間](木曜日): 高血圧・高尿酸血症外来 午前中
糖尿病・代謝内科		角 啓佑	石井有李子	角 啓佑	石井有李子	伊藤 祐一	初診は紹介のみ
緩和ケア内科		八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	※新患は要予約
腎臓内科		山本真理絵	眞野 勉		眞野 勉		
神経内科						守安正太郎	初診は紹介のみ
健診		須田多香子	須田多香子	須田多香子	須田多香子	久留 一郎	事前予約のみ ※乳がん・子宮がん検診を除く
小児科	午前	松浦 宏樹	佐々木佳裕	上山 潤一	松浦 宏樹	佐々木佳裕	[診療時間] 8時30分~
	午後	佐々木佳裕	松浦 宏樹	交替医[急患のみ]	佐々木佳裕	上山 潤一	[診療時間] 15時~17時
専門外来			佐々木佳裕 [アレルギー]	交替医 [乳児健診] [予防接種]	検 査	林原 博 [アレルギー]	[診療時間] 午後~ ※詳細な時間は お問い合わせください
消化器・一般外科		奈賀 卓司	交替医	菅澤 健	谷口健次郎	山本 修	
	専門外来			ストーマ			第1.3週のみ 予約制 [診療時間] 13時~16時
胸部・乳腺外科		万木 洋平	万木 洋平	万木 洋平	交替医	万木 洋平	
	専門外来	リンパ浮腫		リンパ浮腫		フットケア	予約制 ※リンパ浮腫は 月・水曜日の午前中のみ
整形外科		南崎 剛	遠藤 宏治	大槻 亮二	南崎 剛 (最終木曜休診)	奥野 誠之	
		遠藤 宏治	林原 雅子	奥野 誠之	大槻 亮二	林原 雅子	
	専門外来	南崎 剛	遠藤 宏治		南崎 剛 (最終木曜休診)		骨軟部腫瘍
専門外来		林原 雅子		大槻 亮二	林原 雅子	火曜:関節リウマチ外来 木曜:関節外科外来 金曜:手の外科外来	
泌尿器科		磯山 忠広		磯山 忠広	磯山 忠広	磯山 忠広	
		守安絵美佳	山元 惇史	守安絵美佳	守安絵美佳	守安絵美佳	
放射線科		杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	
	専門外来		吉田 賢史	坂口 弘美			放射線治療(完全予約制)
歯科口腔外科			吉田 優	吉田 優	吉田 優	小谷 勇	※金曜日は要相談
耳鼻咽喉科		山本 祐子	交替医		交替医		
眼科			三宅 敦子		三宅 敦子		
婦人科						交替医	7月~12月のみ月・金

時間 (診療受付) 8時30分~11時 (健康診断受付) 毎週火・水・金/予約制

診療情報提供書:FAXによる紹介状の送信先

